

国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業に関する マーケットサウンディング調査 調査結果

1. マーケットサウンディング調査実施の経緯

国道1号上鳥羽南電線共同溝の整備・管理運営を担う民間事業者の公募に向け、民間事業者の知見等を取り入れ、今後予定している事業者公募の技術仕様等に反映させる事を目的に、マーケットサウンディング調査を実施しました。

2. マーケットサウンディング調査の実施スケジュール

内容	日程
実施要領等公表	令和7年1月30日
サウンディング調査参加受付期限	令和7年2月13日
事前回答受付期限 サウンディング実施日時及び場所の連絡	令和7年2月20日
個別対話の実施	令和7年3月3日～12日

3. マーケットサウンディング調査の参加者

- (1) 事前回答表提出者：3者
- (2) 個別対話実施者：上記のうち2者

4. マーケットサウンディング調査結果の概要

(1) 事業箇所、事業期間について

- ・ 事業箇所に対するご意見及びご要望等は挙げられませんでした。
- ・ 設計・工事期間について、少し長いとすることと、短いとすることの両方が挙げられました。
- ・ 維持管理期間について、本事業の事業費が維持管理期間中の割賦払いとなる観点から理解できるが、資金回収面等からは少しでも短い方がよいとすることのご意見が挙げられました。

(2) 事業スキーム（案）について

- ・ 事業スキームについては、「問題ない」というご意見がある一方で、資金調達や長期間に渡って実施体制確保が難しい面から、参加可能な企業が限られるとのご意見も挙げられました。

(3) 参加資格について

- ・ 全体的に「問題ない」というご意見がある一方で、応募時には配置予定技術者を複数名記載し、工事着手時の状況に応じて選択可能な形とすることがよい、とのご要望が挙げられました。

(4) 既存ストック※の活用について

- ・ 既存ストック埋設が無い路線の方が、事業を実施しやすいとの意見が挙げられました。

※既存ストックとは、市街地において今まで整備されてきた都市基盤施設のことで、無電柱化事業では、電力系及び通信系の企業が所有する既存の管路やマンホールなどを電線共同溝の一部として活用し、事業を効率的に進めることを指します。

(5) 留意が必要な国とのリスク分担について

- ・ 近年、金利が上昇傾向にあることを踏まえ、事業者側の金利変動リスクへの対応として、割賦期間中の金利改定を導入してほしい、とのご要望が挙げられました。
- ・ その他、税制変更リスク、法令変更リスク、不可抗力リスク、住民運動に関するリスク等に対しても、事業者の負担を減らす形で、リスク分担の見直しを求めるご意見が挙げられました。

(6) 本事業への参画意欲について

- ・ 現時点での参画意欲については、参画を検討する可能性がある事業者は1者、参画しない、あるいは現時点では回答できない事業者は2者の回答でした。
- ・ その上で、更に参画を具体にご検討頂くための必要条件として、(5)に関連して、金利変動リスクに対応しやすくなる取組や、住民調整における発注者側の対応について、ご要望が挙げられました。

(7) その他

- ・ 事業者側の入札価格の算定作業に係るご要望や、全国の他の箇所における電線共同溝PFI事業の公募スケジュールに関する調整等へのご要望など、複数のご意見及びご要望が挙げられました。

5. 今後の予定

各種委員会等を経て資料が整いましたら、実施方針及び要求水準書（案）を近畿地方整備局のホームページで公表する予定です。